

広島県内の感染状況

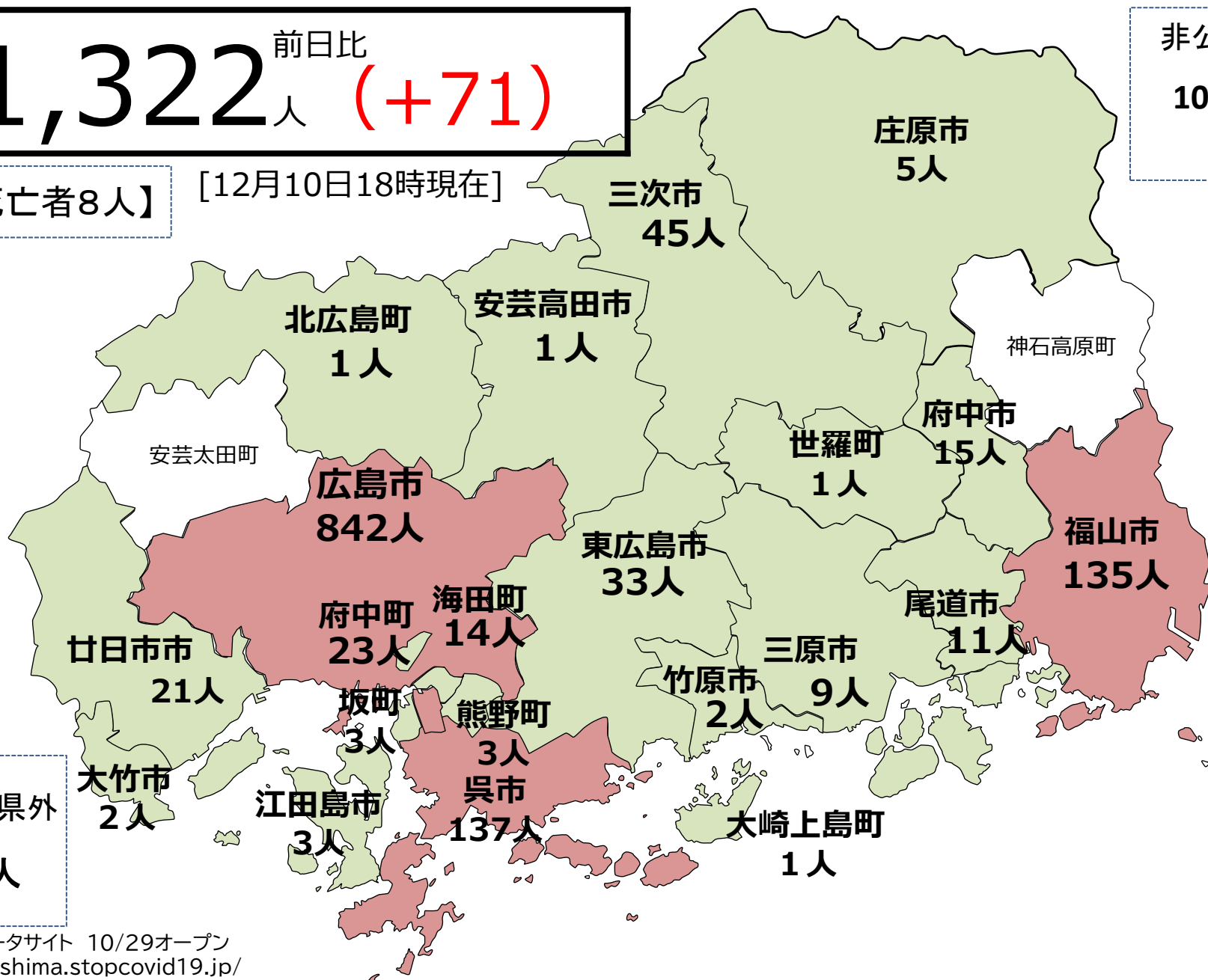
(令和2年12月10日時点)

新型コロナウイルス感染症患者の状況（広島県発表分）

延 **1,322** 人 前日比 **(+71)**

【うち死亡者8人】 [12月10日18時現在]

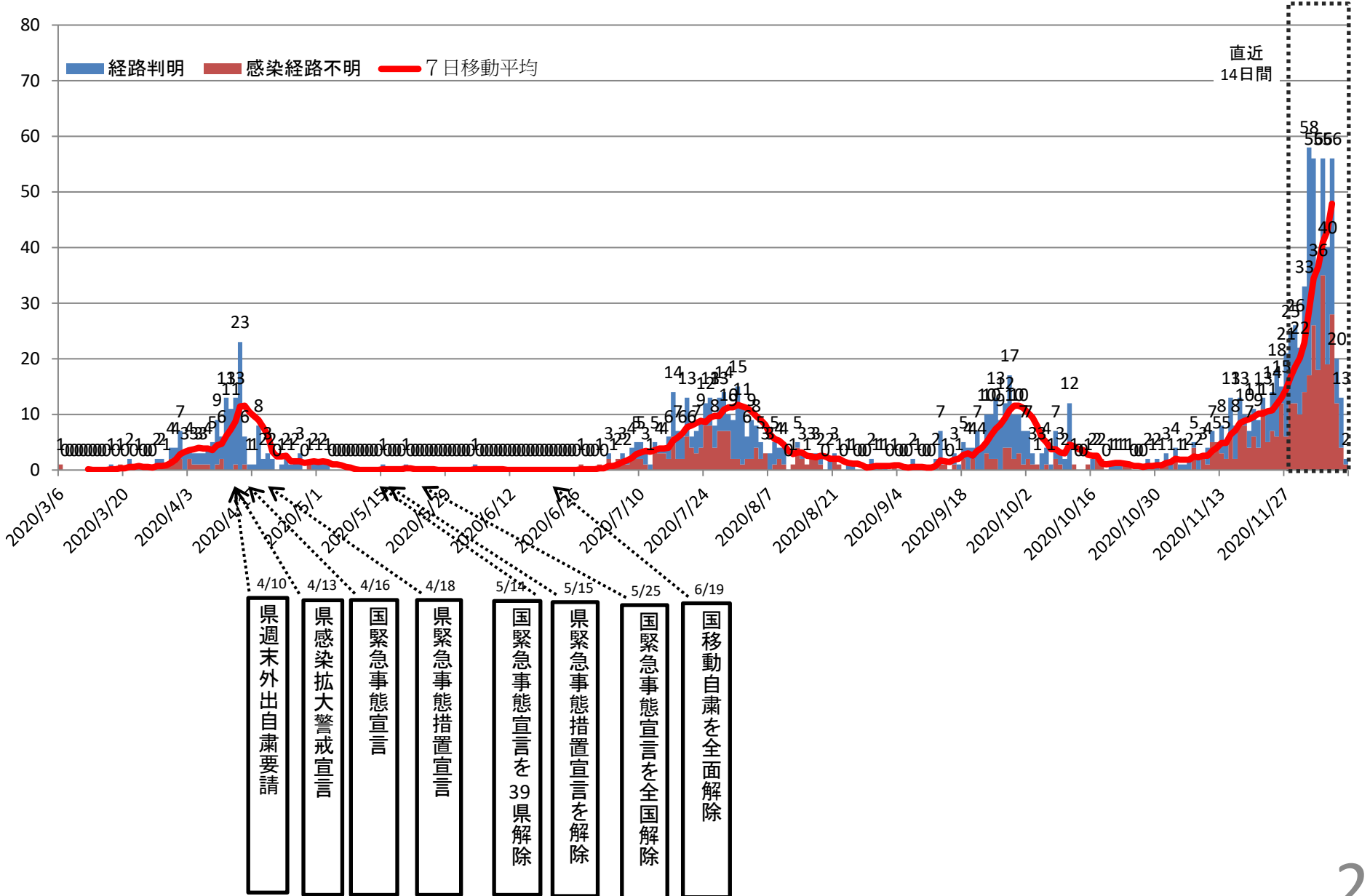
非公表
10人



新型コロナウイルス感染症患者の推移（広島県）

【発症日別（無症状は判明日で整理）】

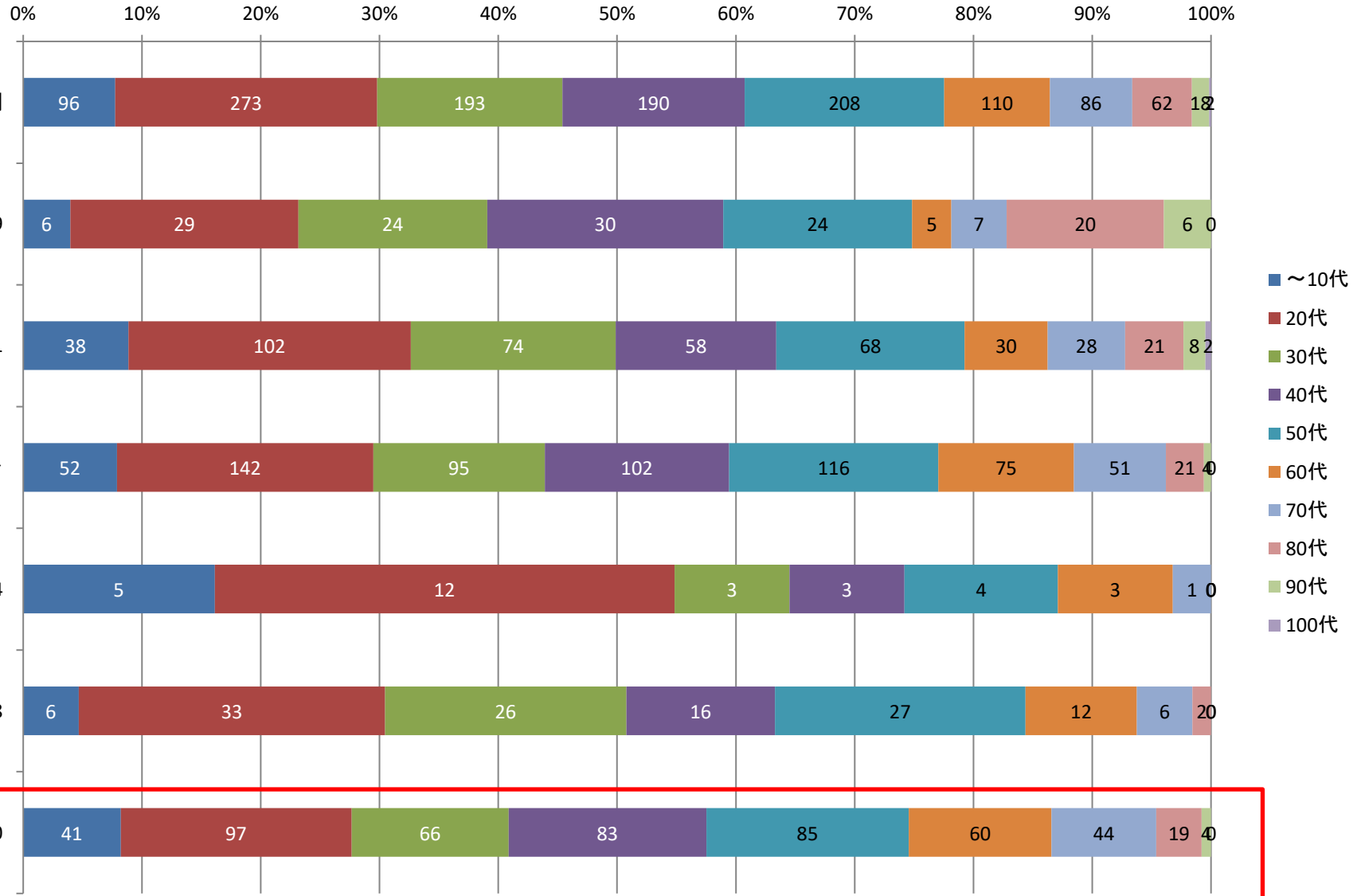
12月10日18時整理



新型コロナウイルス感染症患者の状況（広島県） 【年代別（公表日別整理）】

12月10日18時整理

※年代非公表の場合は除外



N=31

N=128

N=500







※ただし、1名のみ年齢不明のためグラフには含まない

指標等の状況

(令和2年12月10日時点)

8/7政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の参考指標

本県の現状

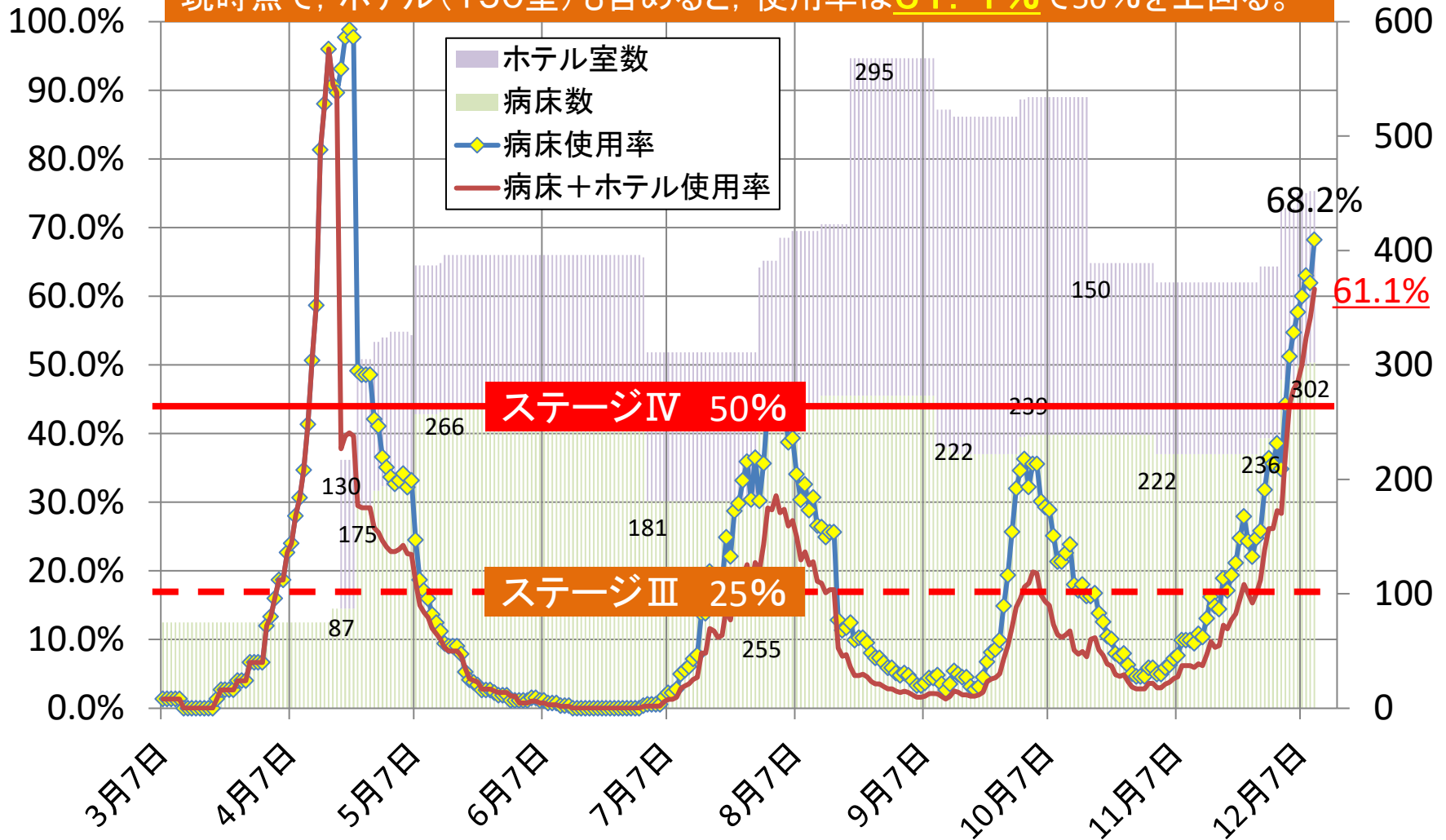
指標	現状	前日比	評価
①病床ひっ迫具合	使用率 61.1% (276/病302+ホ150) [入院病床の使用率 68.2% (206/302)]	 (+4.2%)	➤ 現時点の確保の1/2を上回る (ホテル空床率は53.3%)
②療養者数 (10万人当たり)	15.55人 [12/10時点] (437/28.11)(自宅療養を除くと9.82人)	 (+1.85人)	➤ 警戒基準値6人を上回る ➤ 15人を上回る
③PCR陽性率	4.8% [直近7日移動平均] [12/4時点]	 (▲0.3%)	➤ 10%を下回る
④新規報告数 (直近1週間の10万人当たり)	11.78人 [12/4~12/10] (331/28.11)(公表日基準だと13.48人)	 (▲1.45人)	➤ 警戒基準値4人を上回る ➤ 15人を下回る
⑤直近1週間の 先週比較	今週 331人 [12/4~12/10] 先週 193人 [11/27~12/3] (公表日基準だと379人/158人)	 (▲41人)	➤ 先週と比較して増加
⑥感染経路不明割合	54.9% [直近7日移動平均] 44.1% [6/30~12/10の累計] (公表日基準だと48.5%)	 (+0.7%)	➤ 50%を上回る

①病床利用率

➤ 現時点の確保の1/2を上回る
(ホテル空床率は53.3%)

各時点での稼働病床で算出。

現時点で、ホテル(150室)も含めると、使用率は**61.1%**で50%を上回る。



②全療養者数 (人口10万人当たり)

評価

➤ 15人を上回る



(自宅療養を除くと9.82人)

※12/4実施分まで

③PCR陽性率 (7日移動平均)

評価	
➤	10%を下回る
ステージⅣ	10%
ステージⅢ	10%



④直近1週間の人口10万人当たり 新規報告数 (判明日基準)

評価

- 警戒基準値4人を上回る
- 15人を下回る



ステージⅣ
25人/10万人/週 以上

ステージⅢ
15人/10万人/週 以上

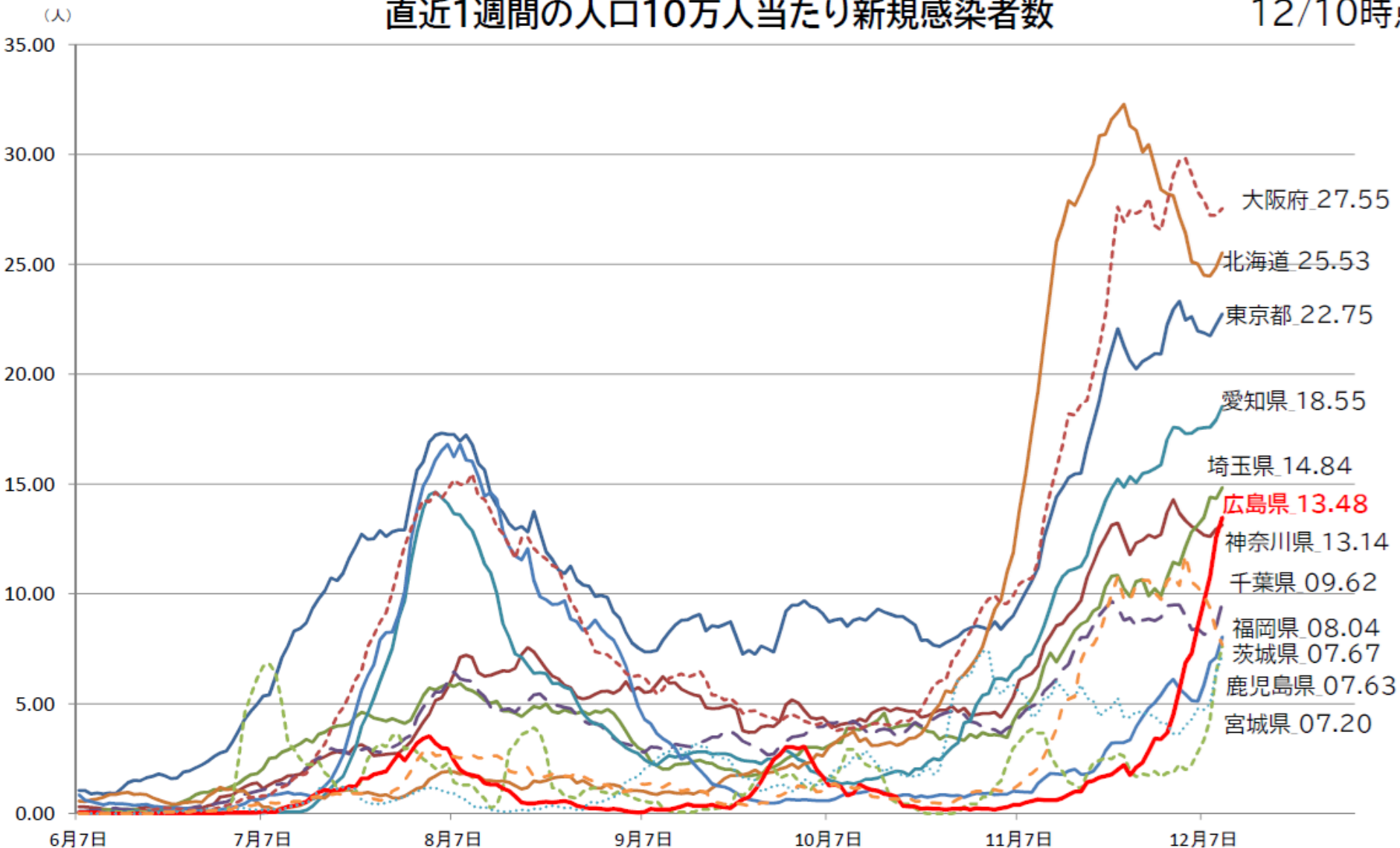
警戒基準値 4.0人/1週・10万人

公表日基準の場合12.59人

主要都道府県の推移 (各都道府県の公表日ベース)

直近1週間の人口10万人当たり新規感染者数

12/10時点



新規患者数（5日移動平均）

参考

※分科会の参考指標ではない



1日当たり新規16人
= 広島県の警戒基準値4.0人/10万人/週

広島積極ガード宣言2週間後(8/3)

県内感染者初確認(3/7)

県週末外出自粛要請(4/10)

県感染拡大警戒宣言(4/13)

県緊急事態措置宣言(4/18)

休業等の要請一部解除(5/15)

県緊急事態宣言解除(5/15)

広島積極ガード宣言(7/21)

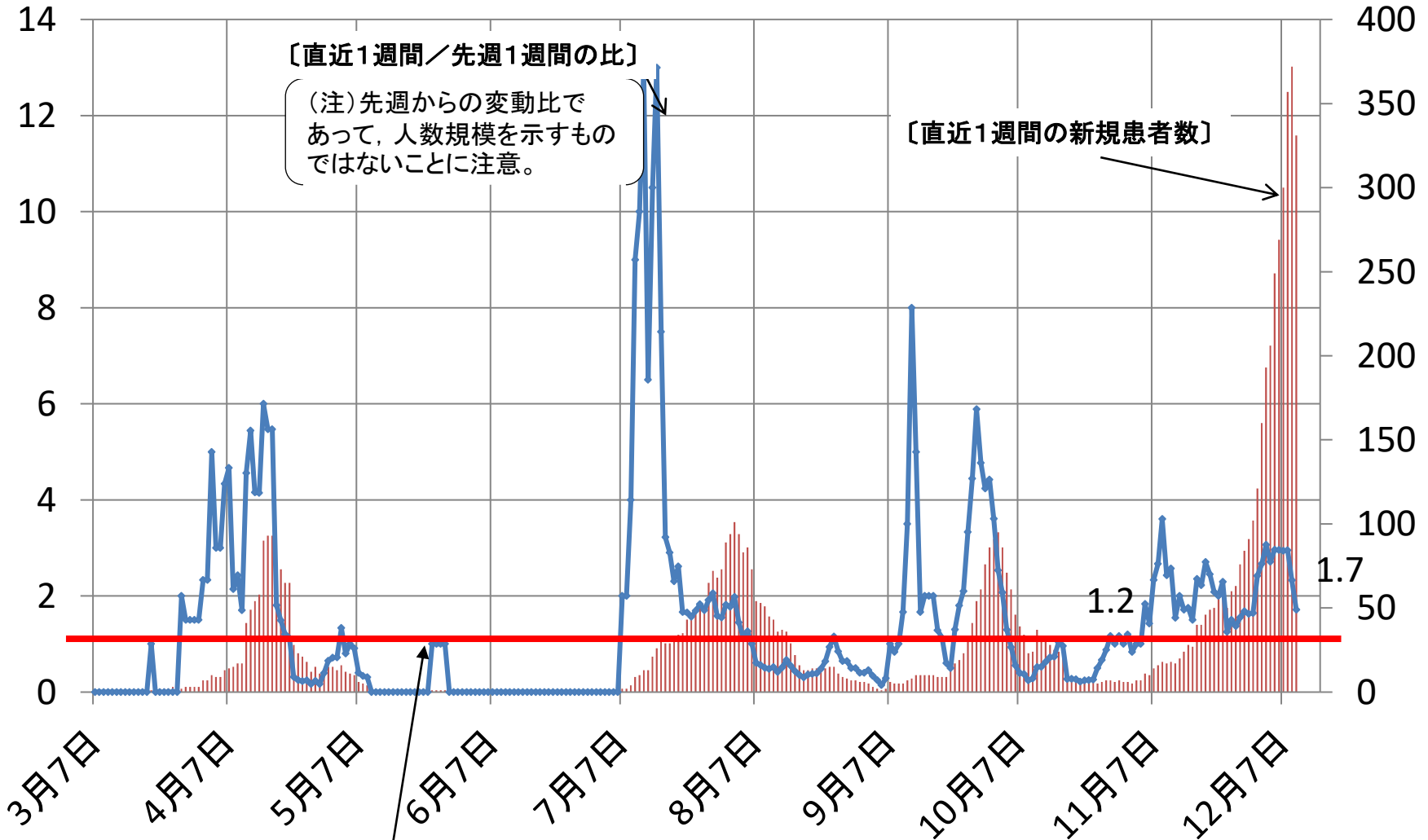
⑤直近1週間と先週1週間の比較

➤ 先週と比較し増加

[直近1週間／先週1週間 で算出]

[直近1週間／先週1週間の比]

[直近1週間の新規患者数]



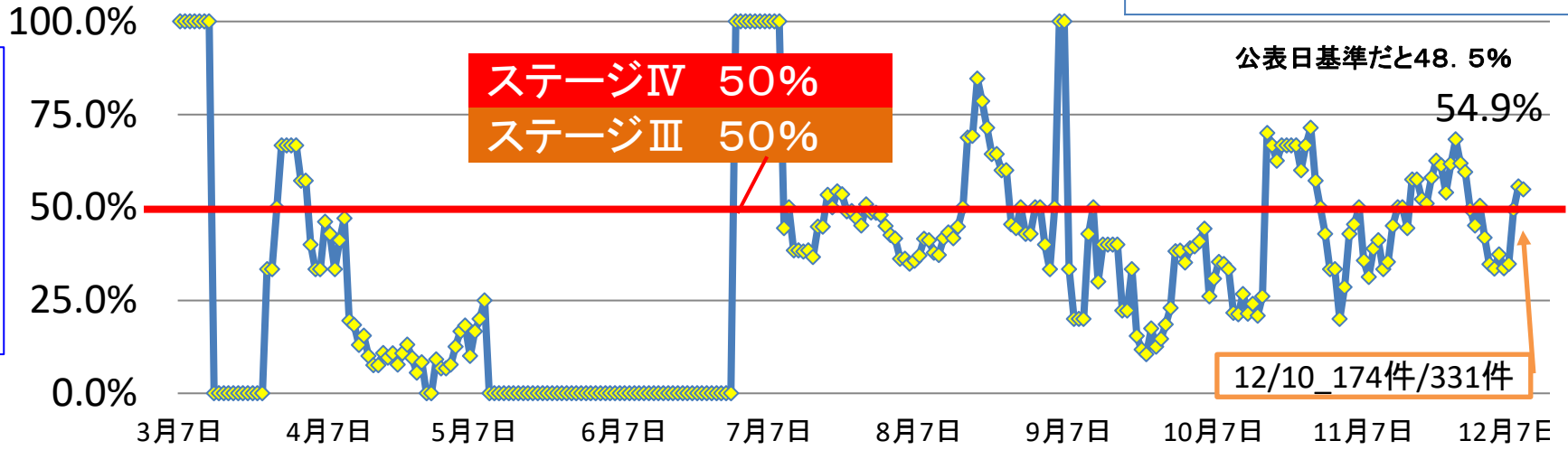
1を超えると先週より多い

⑥感染経路不明数の割合

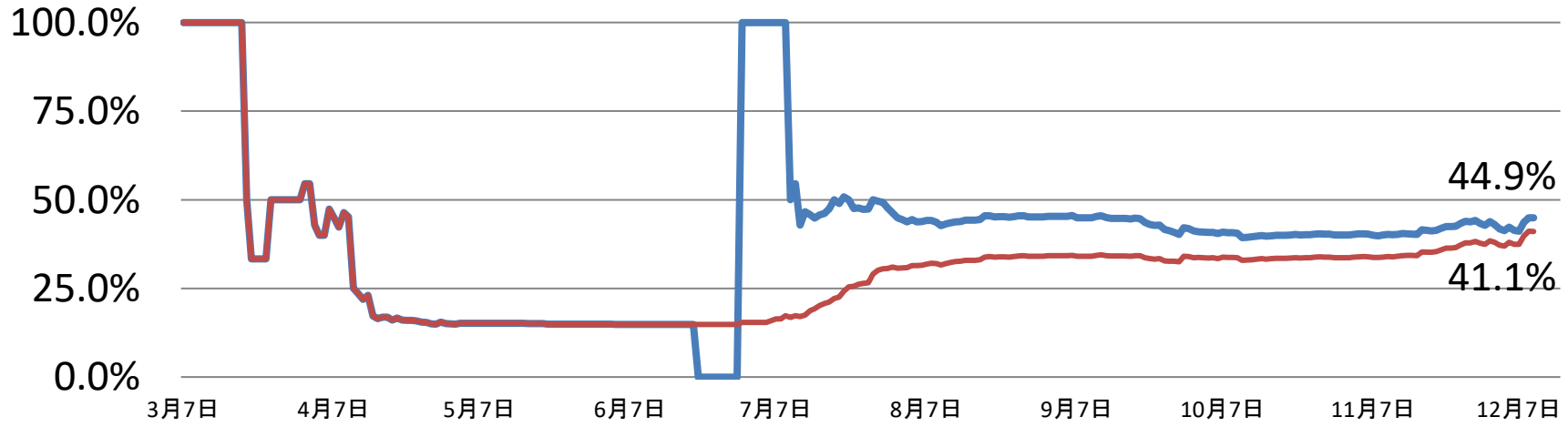
評価

➤ 50%を上回る

7日移動平均



累計



— 感染経路不明数の割合 (リセットあり)

— 感染経路不明数の割合

8/7政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の参考指標

以下の指標は目安であり、また、これらの指標をもって機械的に判断するのではなく、国や都道府県はこれらの指標を総合的に判断していただきたい。

	医療提供体制等の負荷		②療養者数	監視体制 ③PCR陽性率	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合 ^{注3}				④新規報告数	⑤直近一週間と先週一週間の比較	⑥感染経路不明割合
	病床全体	うち重症者用病床					
ステージⅢの指標	・最大確保病床の占有率 1/5 以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4 以上 <small>※最大確保病床とは、都道府県がピーク時に向けて確保しようとしている病床数をいう。現時点の確保病床数とは、現時点において都道府県が医療機関と調整を行い、確保している病床数であり、直近に追加確保できる見込みがある場合はその病床分も追加して確認する。</small>	・最大確保病床の占有率 1/5 以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4 以上	人口10万人当たりの全療養者数15人以上 <small>※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数</small>	10%	15人/10万人/週 以上	直近一週間が先週一週間より多い。	50%
ステージⅣの指標	・最大確保病床の占有率 1/2 以上	・最大確保病床の占有率 1/2 以上	人口10万人当たりの全療養者数25人以上 <small>※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数</small>	10%	25人/10万人/週 以上	直近一週間が先週一週間より多い。	50%

注1 日々の入手可能性を踏まえつつ、発症日での検討結果も考慮する。

注2 大都市圏については、医療提供体制の負荷を見るための指標として救急搬送困難事例、監視体制をみるための指標として発症から診断までの日数についても参考指標として確認する。また、補助指標としてECMO装着数、人工呼吸器装着数(ECMO除く)、60歳以上新規報告数も参考とする。

注3 「①病床のひっ迫具合」の指標の総合的な判断にあたっては、直近の感染スピード等を勘案する必要があり、その速度が速く、この指標を満たした場合には少なくとも対策が必要となるものである。こうしたことも踏まえて、目安に満たない段階から、早めの対応を行うことが望ましい。一方で、継続的な感染の拡大が見られない時など、その速度の状況によっては、病床の占有率のみで判断をせず、特に総合的に判断することが望ましい。⁵

ステージ1: 感染者散発的発生。医療支障なし
 ステージ2: 感染者増加。医療負荷が蓄積
 ステージ3: 感染者急増。医療支障を避ける措置必要
 ステージ4: 爆発的感染。医療機能不全を避ける措置必要

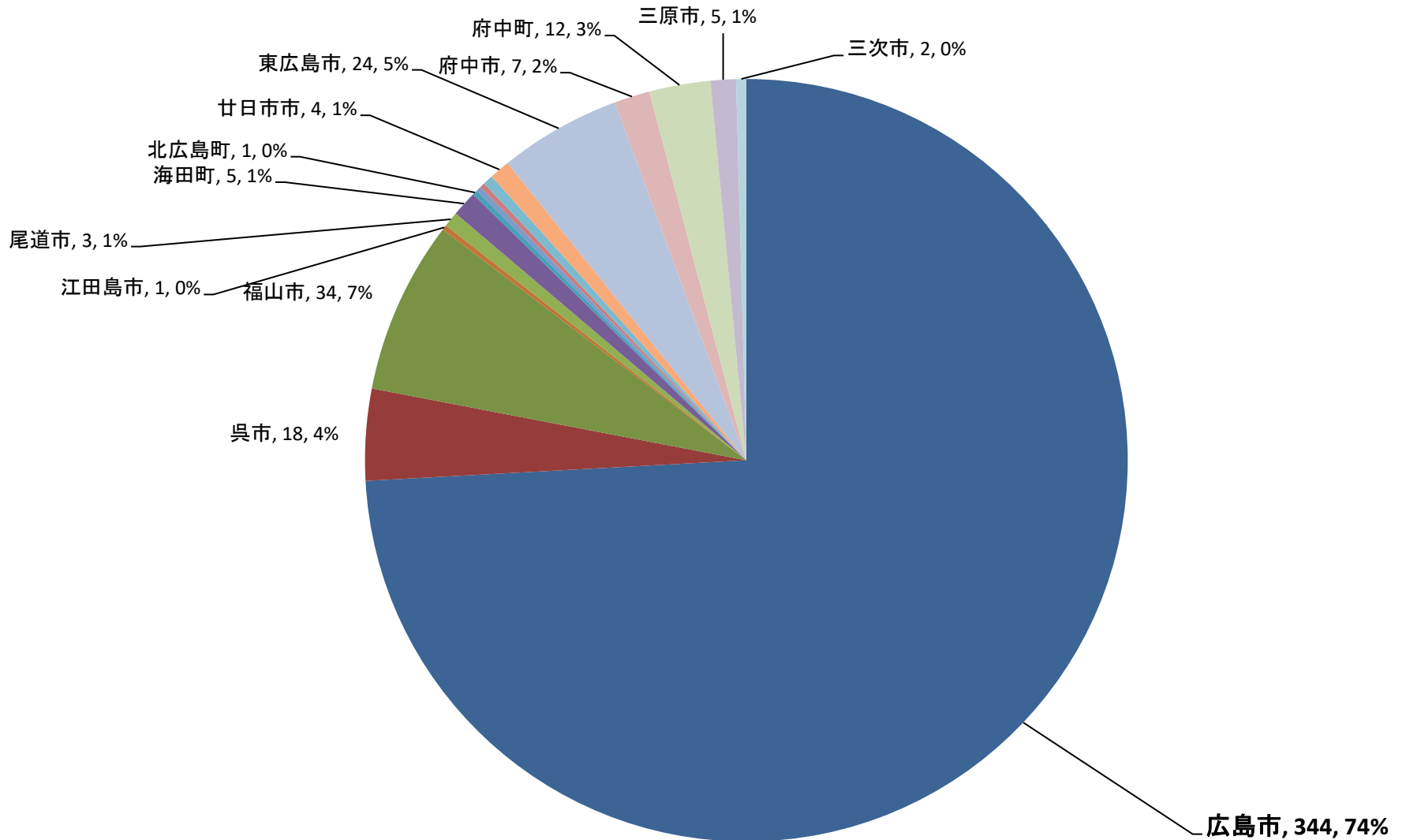
【講ずべき施策の提案】

ステージ3: 飲食店の人数制限, イベント見直し, 酒提供店の利用自粛要請
 ステージ4: 緊急事態宣言の検討, 外出自粛要請, 学校休校の検討

重点的な取組に向けた 検討用資料

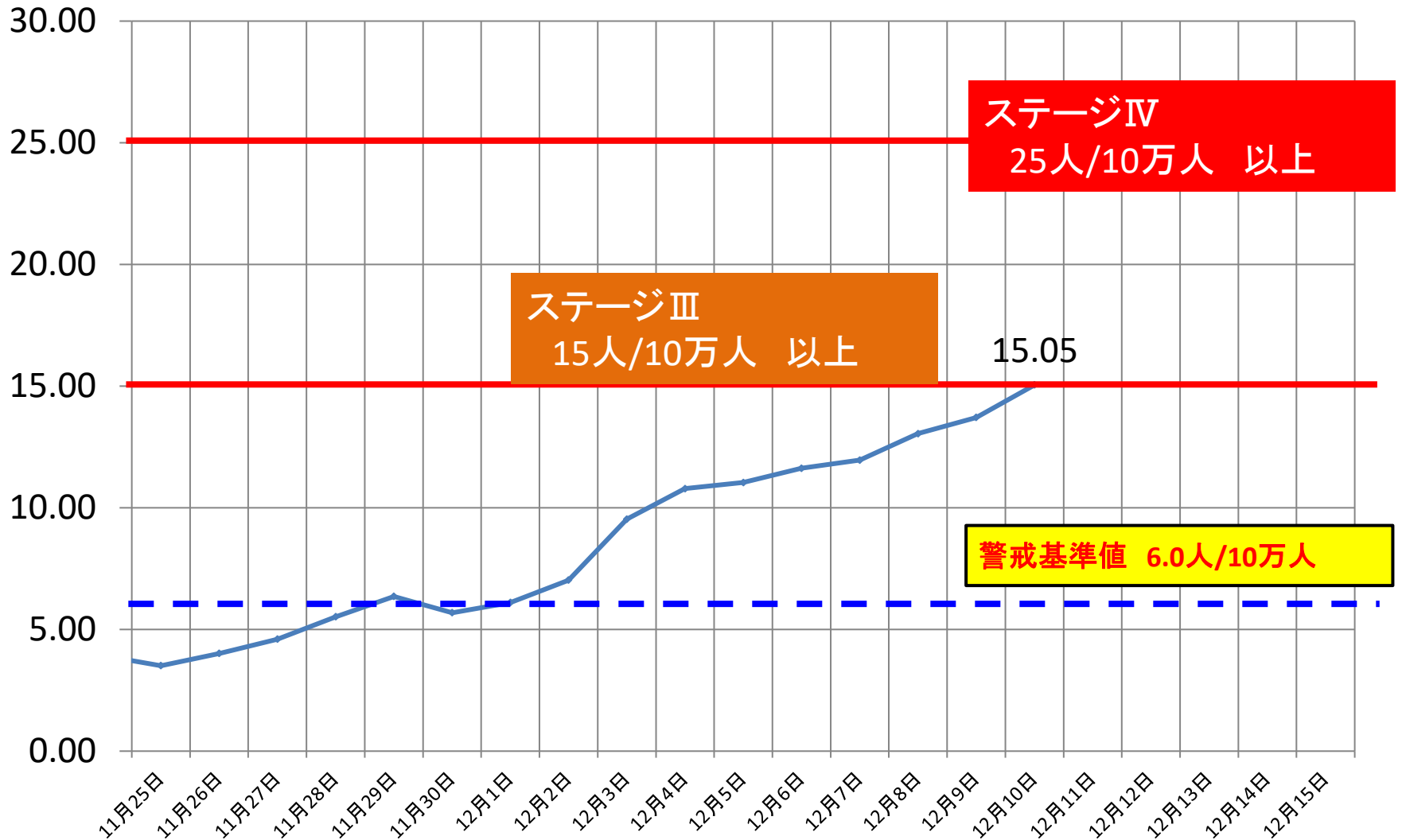
新型コロナウイルス感染症患者の状況 (12月以降の感染者の居住地の内訳 (非公表は除外))

[12/1~12/10]



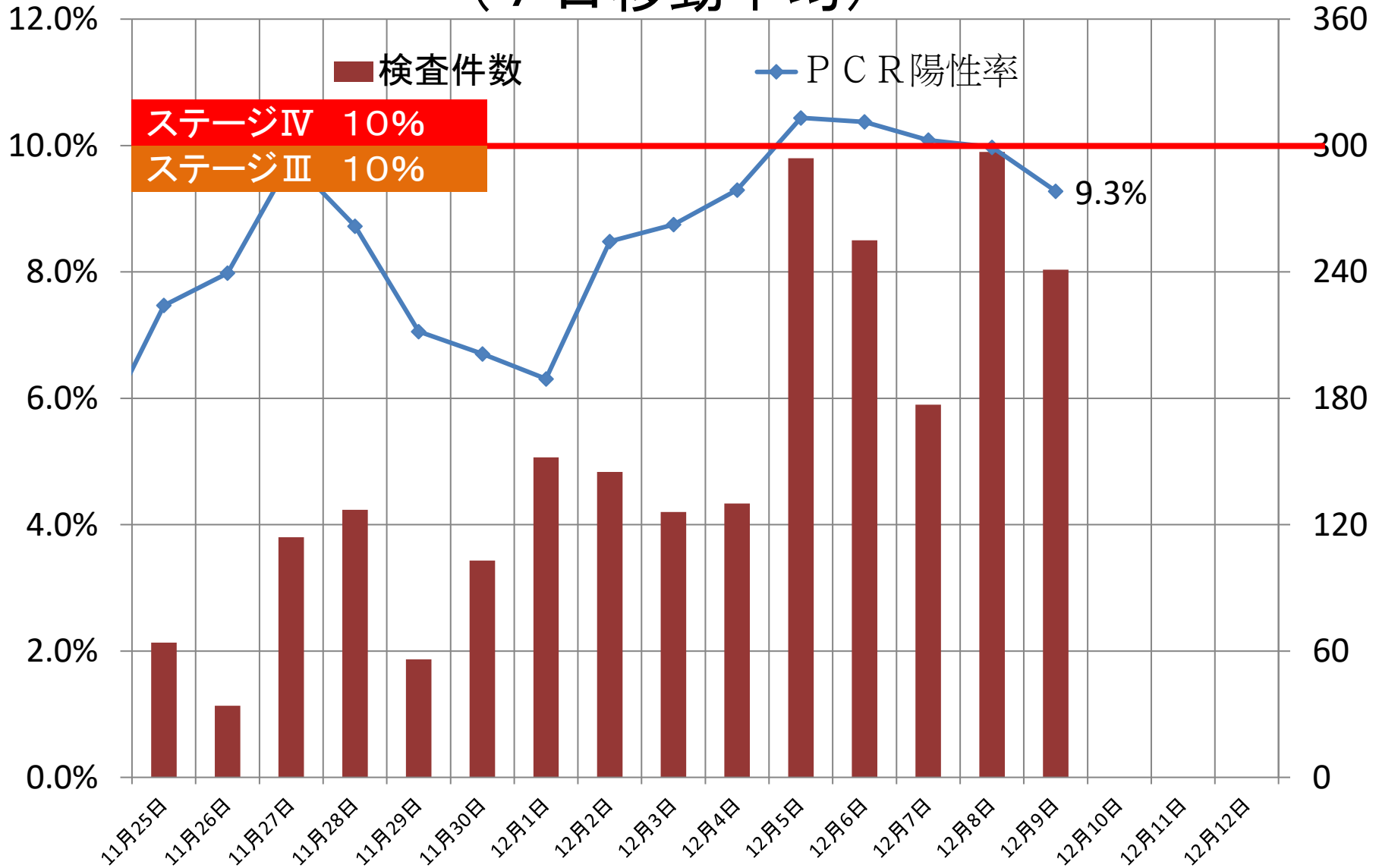
広島市 全療養者数

(人口10万人当たり) (入院, 宿泊療養)



[県医療調整本部が把握している入院者数, 宿泊療養施設入所者数をもとに作成。そのため, 市公表情報と若干のずれが生じる可能性あり]

広島市 PCR陽性率 (7日移動平均)

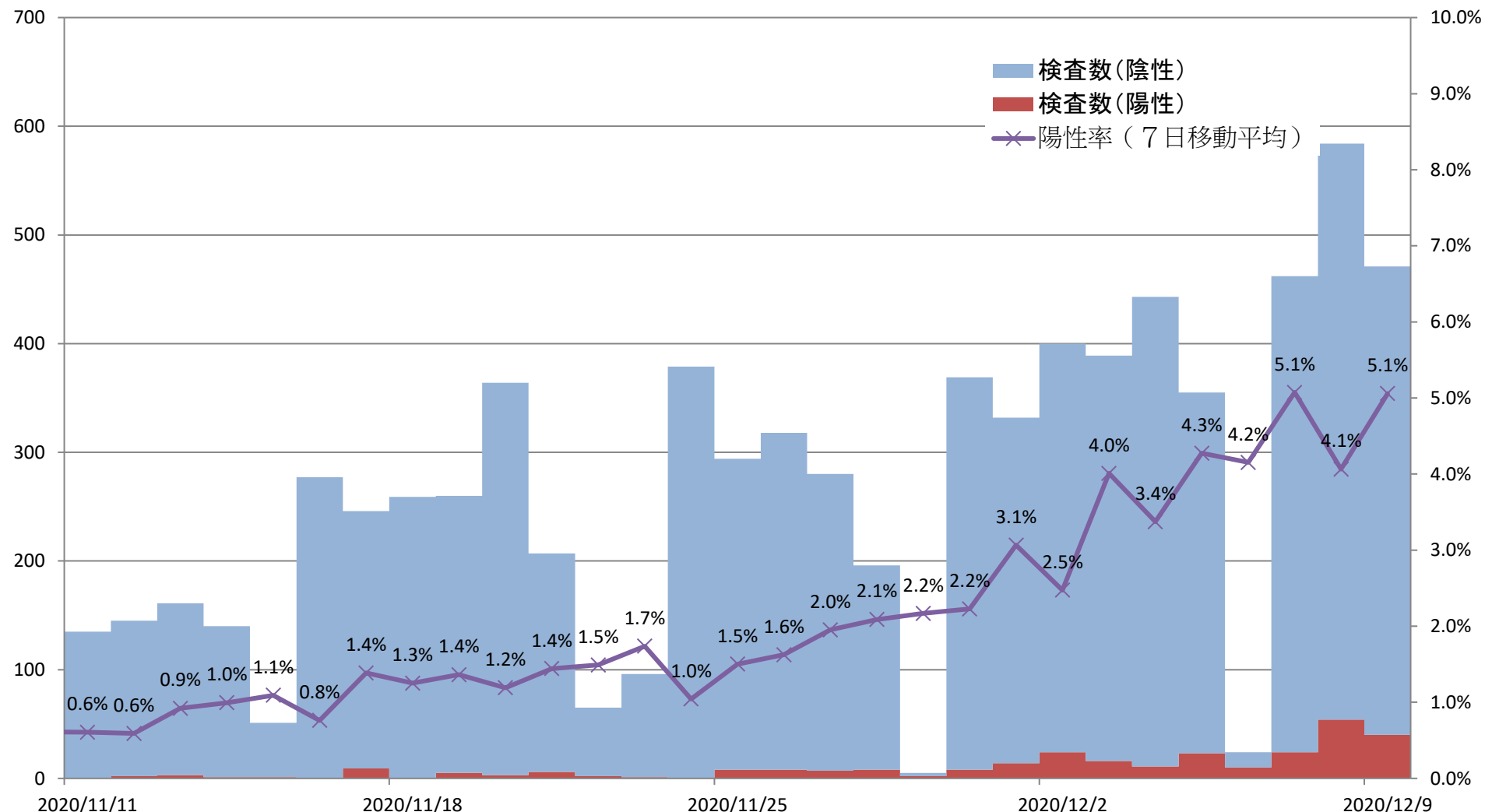


ステージⅣ 10%
ステージⅢ 10%

9.3%

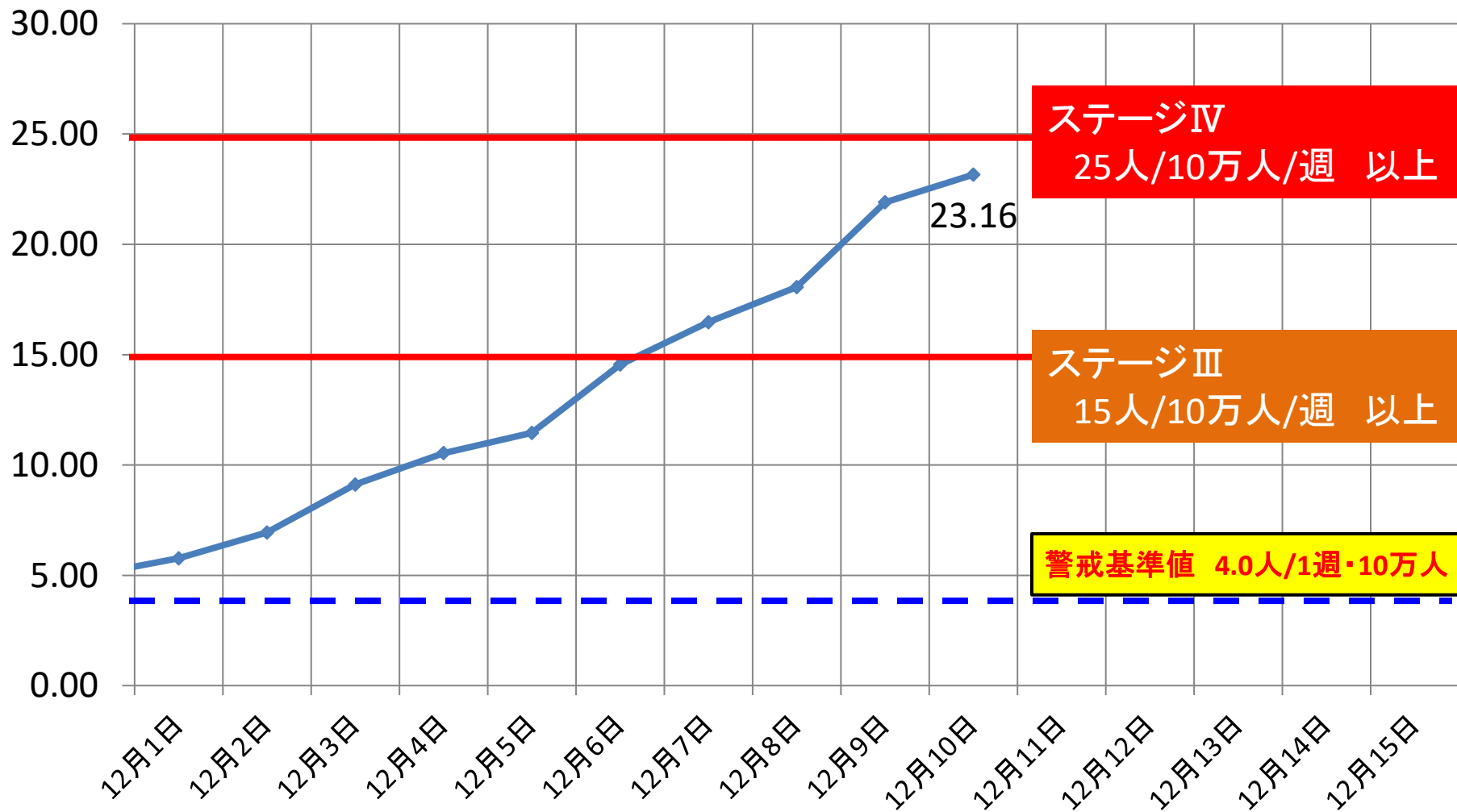
[市衛生検査所実施分（医療機関における実施数，陽性件数は含まずに整理。県データサイトに掲載予定）をもとに作成。そのため，市公表情報とずれが生じる可能性あり]

(参考) 医療機関におけるPCR検査 (7日移動平均)



[県全体の医療機関での陽性件数を反映したものだが、広島市における陽性者発生状況も反映するため掲載]

広島市 直近1週間の人口10万人当たり 新規報告数（公表日基準）



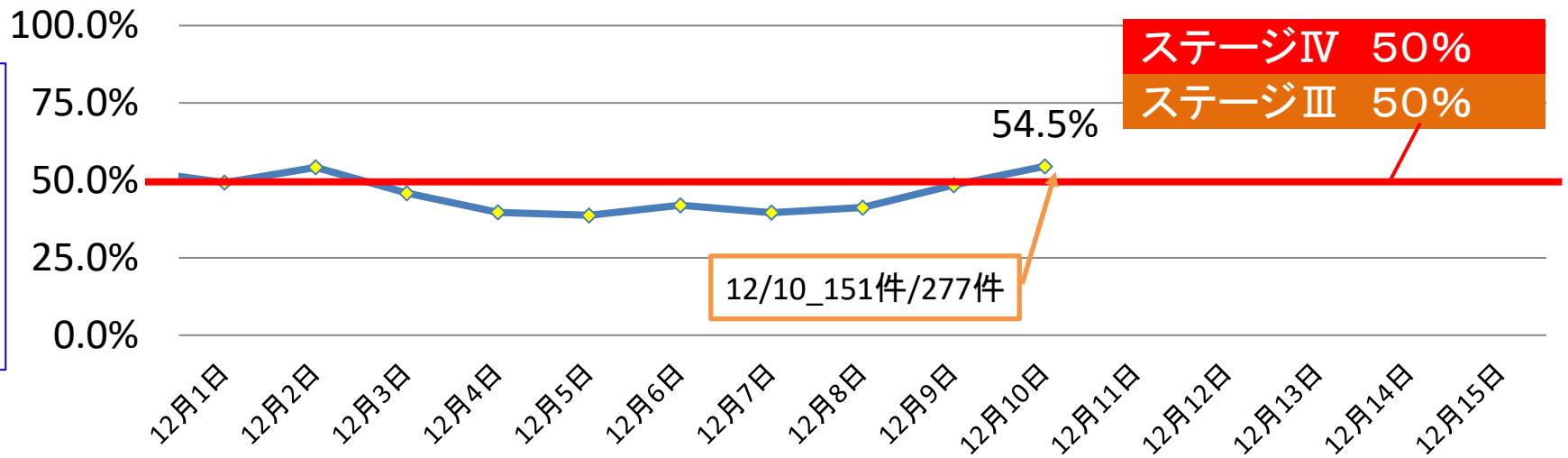
ステージⅣ
25人/10万人/週 以上

ステージⅢ
15人/10万人/週 以上

警戒基準値 4.0人/1週・10万人

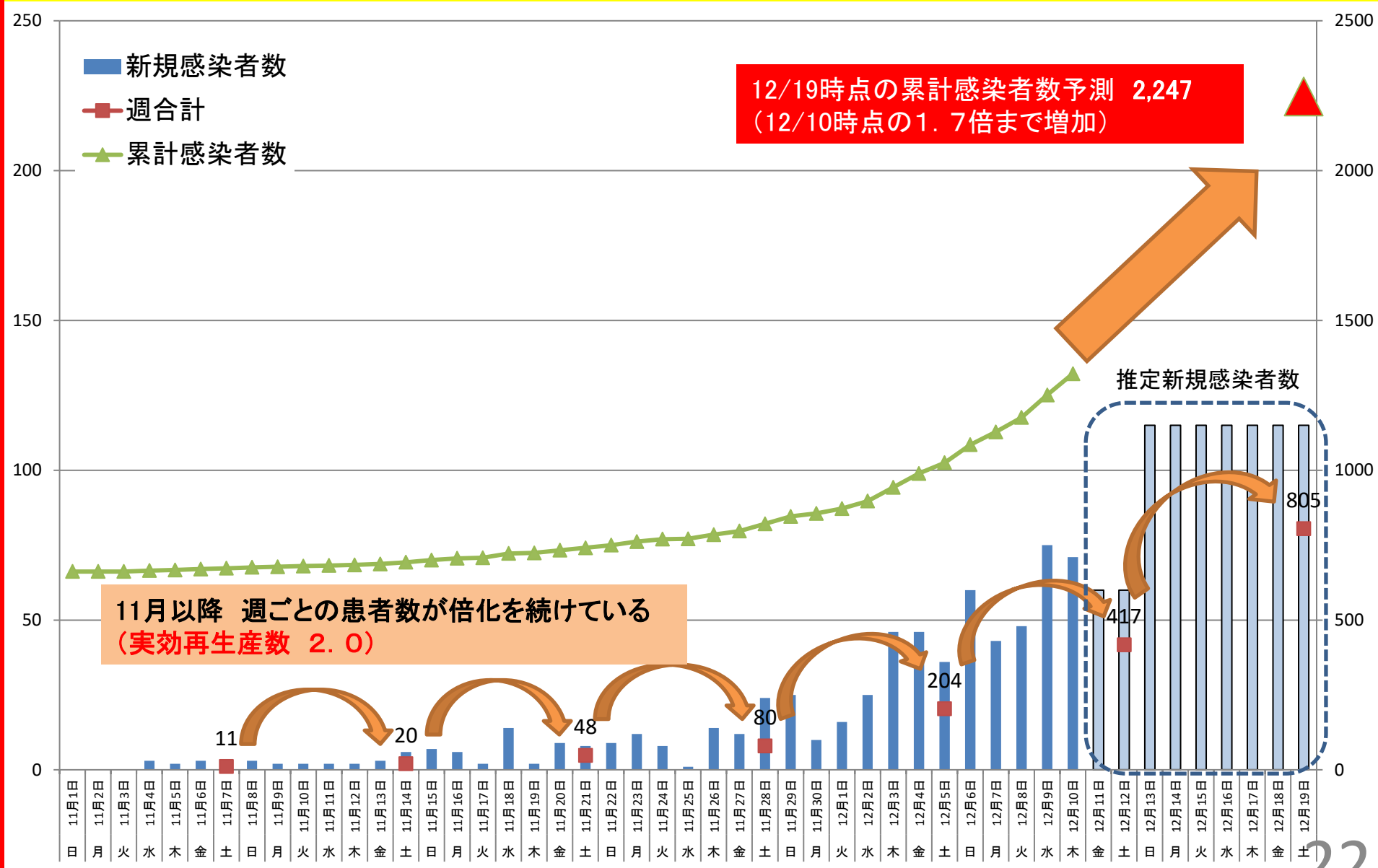
[公表情報をもとに作成。後日数値が若干修正される可能性あり]

広島市 感染経路不明数の割合



[公表情報をもとに作成。後日数値が若干修正される可能性あり]

11月以降の感染者の増加状況を踏まえた今後の予測 【県全体】



11月と12月の感染状況の比較

クラスター対策が重要であることは変わらないが、散发事例の根本的な抑え込みが必要
 12月は大きな集団に由来する陽性者が増加傾向ではあるが、
 初発例及び小さな集団に由来する陽性者数が占める割合は依然として高い(約7割)。

11/1～11/30公表の194例

初発(感染経路不明)		100例	
内訳	さらなる陽性者発見なし	70例	
	さらなる陽性者発見あり	26例	30例
		4例	
他自治体陽性者の濃厚接触者及びその関連から発見された陽性者		25例	

関連陽性者数が3名以下のケース及びその関連から発見された陽性者(小さな集団に由来する陽性者)	45例
--	------------

関連陽性者数が4名以上のケース及びその関連から発見された陽性者(大きな集団に由来する陽性者)	24例
--	------------

散发事例の割合
全体の73%
 (70+26+45) ÷ 194

12/1～12/7公表の272例

初発(感染経路不明)		105例	
内訳	さらなる陽性者発見なし	58例	
	さらなる陽性者発見あり	40例	47例
		7例	
他自治体陽性者の濃厚接触者及びその関連から発見された陽性者		2例	

関連陽性者数が3名以下のケース及びその関連から発見された陽性者(小さな集団に由来する陽性者)	78例
--	------------

関連陽性者数が4名以上のケース及びその関連から発見された陽性者(大きな集団に由来する陽性者)	87例
--	------------

散发事例の割合
全体の65%
 (58+40+78) ÷ 272

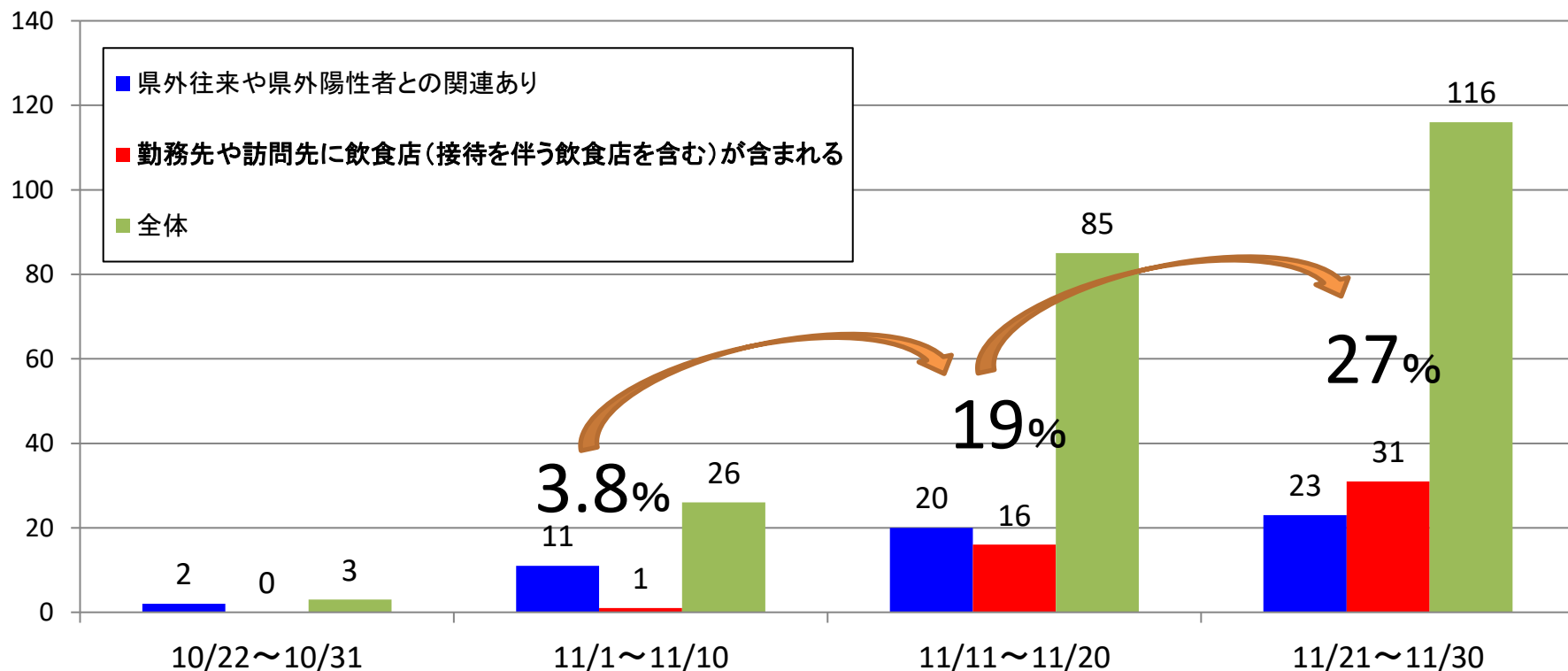
◆11月（散发事例が中心）の陽性者の特徴

11月初旬の「県外関連あり」に加えて、

11月下旬は「飲食店（接待飲食含む）」が増加（3.8%→27%）

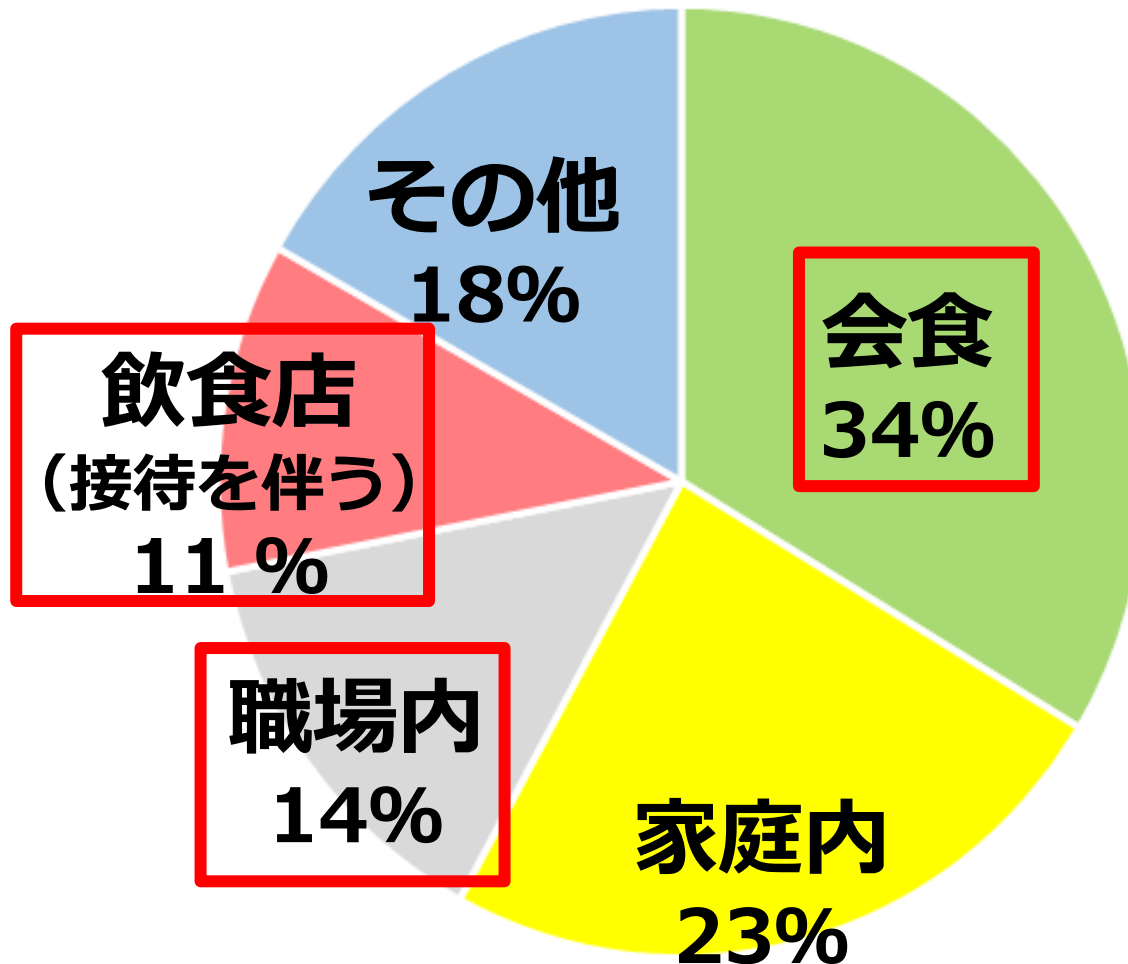
12月2日公表分まで

発症日（無症状の場合は判明日）ごとの特徴の変化



推定感染経路

● 11/1-11/30 広島市358-498例目(判明107例)



クラスター対策に加え、散発事例の根本的な抑え込みが必要



◆会食を始め、飲食が行われるシーン
(マスクを外すシーン)

◆職場

における感染防止対策の徹底が必要